

中国労働衛生協会

健康経営優良法人

「ホワイト500」に認定

(公財)中国労働衛生協会(福山市引野町5-14-2、宮田明理事長、TEL084-941-8211)は3月9日、健康経営優良法人2022「ホワイト500」(大規模法人部門)の認定を受けた。健康経営優良法人の認定は4年連続、ホワイト500は3回目の認定となる。

今回の健康経営優良法人の大規模法人



部門には、全国で2869社が申請し、2299社が認定を受けた。このうち上位503社が特に優良な法人としてホワイト500の認定を受けている。広島県内の大規模法人で、自前で健保組合を有していない事業場では、同法人が唯一のホワイト500となる。

同法人では生活習慣病やワーク・ライフ・バランス、禁煙対策、運動習慣などの多様な項目で数値目標を設定して健康経営を推進、現場レベルにそれぞれ健康経営実践担当者Ⅱ写真を置き、各担当者が責任を持って、取り組みの徹底を図っている。

同法人では、東京商工会議所認定の「健康経営エキスパートアドバイザー」資格を14人が取得しており、医師や保健師、管理栄養士、ヘルスケアトレーナーなど、健康経営に欠かせない専門家が多数在籍、公認心理師のサポートもある。

健康経営実践の豊富な経験を生かし、同法人は2020年秋から健康経営導入コンサルティング事業を開始。今回はコンサルティングを受け申請した全13社が健康経営優良法人の認定を受け、その後さらに数社が来年の健康経営優良法人認定を目指し、支援を受けている。宮田理事長は「第三者に対するコンサルティングを行うためにも、当法人がホワイト500の認定を受けることは必要不可

欠。コンサルティングは、健康経営優良法人の認定を受けるためだけではありません。継続的な支援を通じて実際に社員が健康になり、中長期的に企業が活性化して生産性がアップすることを目的として導きます」と話す。